

令和5年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和4年11月9日

上場会社名 株式会社 ミクニ 上場取引所 東  
 コード番号 7247 URL <https://www.mikuni.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 生田 久貴  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部 経理室長 (氏名) 柴田 恒 TEL 03-3833-0532  
 四半期報告書提出予定日 令和4年11月9日 配当支払開始予定日 令和4年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切り捨て)

1. 令和5年3月期第2四半期の連結業績（令和4年4月1日～令和4年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第2四半期	44,810	13.3	724	△61.9	429	△74.5	△587	—
4年3月期第2四半期	39,556	—	1,902	—	1,685	—	748	—

(注) 包括利益 5年3月期第2四半期 3,183百万円 (49.4%) 4年3月期第2四半期 2,130百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第2四半期	△17.49	—
4年3月期第2四半期	22.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
5年3月期第2四半期	107,051	34,908	31.8	1,013.79
4年3月期	96,917	31,918	32.1	925.67

(参考) 自己資本 5年3月期第2四半期 34,024百万円 4年3月期 31,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
5年3月期	—	5.00	—	—	—
5年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和5年3月期の連結業績予想（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,100	17.7	2,800	△15.6	2,500	△20.3	900	△31.8	26.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	5年3月期2Q	34,049,423株	4年3月期	34,049,423株
② 期末自己株式数	5年3月期2Q	487,774株	4年3月期	490,219株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	5年3月期2Q	33,559,541株	4年3月期2Q	33,540,199株

(注) 「役員報酬BIP信託」及び「株式交付ESOP信託」が保有する当社株式を、期末自己株式数に含めております（5年3月期2Q 451,880株 4年3月期 454,380株）。また、「役員報酬BIP信託」及び「株式交付ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式に含めております（5年3月期2Q 454,023株 4年3月期2Q 473,637株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 令和4年5月12日に公表いたしました令和5年3月期通期連結業績予想を修正しております。
2. 上記1.に係る詳細は、本日（令和4年11月9日）公表の「令和5年3月期第2四半期連結累計期間における連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
3. 当社は、令和4年11月22日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。
4. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、これらの業績予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(令和4年4月1日～令和4年9月30日)におけるわが国経済はウィズコロナの新たな段階に移行し、景気が緩やかに持ち直しました。米国、欧州では物価上昇から金融引き締め動きが加速し、為替は円安基調が続きました。中国では経済活動が抑制されましたが、アセアン、インドでは景気が持ち直しました。

このような経営環境のなか当グループにおいては、主力の自動車関連品事業が増収となり、売上高は448億1千万円(前年同期比13.3%増)となりました。半面、原材料価格、輸送費等の上昇による影響もあり、営業利益は7億2千4百万円(前年同期比61.9%減)となりました。この結果、経常利益は4億2千9百万円(前年同期比74.5%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億8千7百万円(前年同期は7億4千8百万円の純利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [自動車関連品事業]

四輪車・二輪車・汎用エンジン用燃料供給装置類及びエンジン関連機能品類の製造販売を中心とする当事業の売上高は、前年同期に比べて増加しました。半導体などの部品不足による影響が長期化したものの、車輛生産は回復基調にありました。海外では、中国におけるゼロコロナ政策による影響を受けました。一方、インドにおいては大幅な増収となり、為替換算の影響等もあり、当事業の売上高は368億9千7百万円(前年同期比13.6%増)となりました。一方で原材料価格、輸送費、燃料費等の急激な上昇による影響もあり、営業利益は7億6千3百万円(前年同期比63.1%減)となりました。

#### [生活機器関連品事業]

ガス機器用制御機器類及び水制御機器類などの製造販売を中心とする当事業の売上高は、前年同期に比べて減少しました。エネルギー価格の高騰に伴い市場での競争が激化していることに加え、中国住宅市場の低迷による影響もあり、当事業の売上高は31億3千8百万円(前年同期比4.0%減)となりました。原材料価格等の上昇による影響もあり、営業損失は5億2千6百万円(前年同期は1億6千5百万円の営業損失)となりました。

#### [航空機部品輸入販売事業]

航空機部品類の売上高は、前年同期に比べて増加しました。民間航空機事業では国内路線需要が回復基調にあり、単通路型機を中心に生産が持ち直してきました。取り扱い商品の拡大もあり、当事業の売上高は12億5千8百万円(前年同期比103.1%増)となり、営業利益は4億1千9百万円(前年同期は4百万円の営業損失)となりました。

#### [芝管理機械等販売事業]

芝管理機械等販売事業の売上高は、前年同期に比べて増加しました。ゴルフ場を中心とした顧客の設備投資は堅調に推移しており、当事業の売上高は23億3千9百万円(前年同期比10.0%増)となりました。アフターサービスへの注力により商品構成が改善していることもあり、営業利益は8千9百万円(前年同期は7百万円の営業利益)となりました。

#### [その他事業]

車輛用暖房機器類、福祉介護機器等の製造販売を中心とするその他事業の売上高は、前年同期に比べて増加しました。福祉介護機器が好調に推移し、その他事業の売上高は11億7千7百万円(前年同期比10.5%増)となりました。半面、架装用車輛の調達が困難になっていることもあり、営業損失は2千1百万円(前年同期は3百万円の営業損失)となりました。

## 【セグメント業績比較表】

(単位：百万円)

	令和4年3月期 第2四半期連結累計期間		令和5年3月期 第2四半期連結累計期間		売上高の増減		営業利益の増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	金額	比率	金額	比率
自動車関連品事業	32,476	2,068	36,897	763	4,421	13.6%	△1,305	△63.1%
生活機器関連品事業	3,267	△165	3,138	△526	△129	△4.0%	△361	—
航空機部品輸入販売事業	619	△4	1,258	419	638	103.1%	423	—
芝管理機械等販売事業	2,127	7	2,339	89	212	10.0%	82	—
その他事業	1,065	△3	1,177	△21	111	10.5%	△17	—
合 計	39,556	1,902	44,810	724	5,254	13.3%	△1,178	△61.9%
ご参考 外貨換算レート	1米ドル=107.82円		1米ドル=123.14円		—		—	

- (注) 1. 営業利益欄の△は営業損失を示しております。  
2. 数値は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
3. 当連結会計年度あるいは前連結会計年度の一方若しくは両方がマイナスの場合や増減率が1,000%以上となる場合の増減率は「—」としております。

## 【ご参考】 令和4年3月期～当第2四半期までの四半期毎の業績推移

(単位：百万円)

		令和4年3月期連結会計年度				当期	
		第1	第2	第3	第4	第1	第2
自動車関連品事業	売上高	15,848	16,627	16,244	17,524	17,233	19,664
	営業利益	1,263	804	758	740	468	294
生活機器関連品事業	売上高	1,512	1,755	1,634	1,851	1,389	1,748
	営業利益	△75	△89	△111	△215	△209	△317
航空機部品輸入販売事業	売上高	287	332	593	402	554	704
	営業利益	△22	17	244	46	138	280
芝管理機械等販売事業	売上高	1,017	1,109	903	846	923	1,416
	営業利益	8	△0	4	△45	16	72
その他事業	売上高	516	548	597	634	537	640
	営業利益	9	△13	5	△12	0	△21
合 計	売上高	19,183	20,373	19,972	21,259	20,637	24,173
	営業利益	1,183	719	901	514	415	308

- (注) 1. 営業利益欄の△は営業損失を示しております。  
2. 数値は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,070億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて101億3千3百万円増加しました。

流動資産は、584億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べて74億2百万円増加しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が12億8千7百万円及び棚卸資産が38億1千3百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、486億3千8百万円となり、前連結会計年度末に比べて27億3千1百万円増加しました。これは主に、設備投資等により有形固定資産が23億9百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は721億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べて71億4千4百万円増加しました。

流動負債は、413億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて78億8百万円増加しました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、307億8千万円となり、前連結会計年度末に比べて6億6千3百万円減少しました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、349億8百万円となり、前連結会計年度末に比べて29億8千9百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を5億8千7百万円計上したものの、為替換算調整勘定が34億6百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年5月12日に公表しました令和5年3月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（令和4年11月9日）公表の「令和5年3月期第2四半期連結累計期間における連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,060	4,929
受取手形、売掛金及び契約資産	18,820	20,108
電子記録債権	1,766	2,484
商品及び製品	11,666	13,509
仕掛品	6,571	7,820
原材料及び貯蔵品	3,134	3,856
その他	4,067	5,801
貸倒引当金	△76	△96
流動資産合計	51,010	58,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,367	8,546
機械装置及び運搬具（純額）	12,862	13,849
工具、器具及び備品（純額）	1,883	2,120
土地	11,820	11,940
建設仮勘定	2,432	3,219
有形固定資産合計	37,365	39,675
無形固定資産		
のれん	1	0
その他	809	847
無形固定資産合計	810	847
投資その他の資産	7,729	8,114
固定資産合計	45,906	48,638
資産合計	96,917	107,051

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,000	10,695
電子記録債務	887	1,478
契約負債	399	1,220
短期借入金	6,794	12,605
1年内返済予定の長期借入金	6,553	6,539
未払法人税等	349	322
賞与引当金	1,394	1,507
製品保証引当金	218	171
その他	5,956	6,821
流動負債合計	33,553	41,361
固定負債		
長期借入金	22,015	20,788
役員報酬BIP信託引当金	66	66
株式交付引当金	23	22
退職給付に係る負債	3,106	3,206
その他	6,233	6,697
固定負債合計	31,444	30,780
負債合計	64,998	72,142
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,215	2,215
資本剰余金	1,908	1,939
利益剰余金	16,886	16,129
自己株式	△181	△181
株主資本合計	20,827	20,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,709	2,682
繰延ヘッジ損益	13	261
土地再評価差額金	5,282	5,282
為替換算調整勘定	2,096	5,503
退職給付に係る調整累計額	133	190
その他の包括利益累計額合計	10,236	13,921
非支配株主持分	854	883
純資産合計	31,918	34,908
負債純資産合計	96,917	107,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
売上高	39,556	44,810
売上原価	32,248	38,347
売上総利益	7,308	6,463
販売費及び一般管理費	5,405	5,739
営業利益	1,902	724
営業外収益		
受取利息	15	8
受取配当金	81	79
持分法による投資利益	—	7
為替差益	16	—
受取賃貸料	58	64
その他	84	102
営業外収益合計	256	262
営業外費用		
支払利息	314	344
持分法による投資損失	100	—
為替差損	—	160
その他	58	53
営業外費用合計	473	557
経常利益	1,685	429
特別利益		
固定資産売却益	8	4
投資有価証券売却益	—	10
債務免除益	100	—
特別利益合計	108	15
特別損失		
固定資産除売却損	9	158
和解関連費用	10	4
その他	2	8
特別損失合計	22	172
税金等調整前四半期純利益	1,770	272
法人税等	977	865
四半期純利益又は四半期純損失(△)	793	△593
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	44	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	748	△587

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	793	△593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	179	△26
繰延ヘッジ損益	△2	247
為替換算調整勘定	1,079	3,472
退職給付に係る調整額	65	56
持分法適用会社に対する持分相当額	14	26
その他の包括利益合計	1,337	3,776
四半期包括利益	2,130	3,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,061	3,097
非支配株主に係る四半期包括利益	69	85

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,770	272
減価償却費	2,337	2,407
のれん償却額	0	0
債務免除益	△100	—
持分法による投資損益 (△は益)	100	△7
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	114	134
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△18	△56
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	94
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15	9
受取利息及び受取配当金	△96	△88
支払利息	314	344
固定資産除売却損益 (△は益)	1	153
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	2,425	△178
未収入金の増減額 (△は増加)	327	79
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,631	△2,316
前渡金の増減額 (△は増加)	△260	△47
仕入債務の増減額 (△は減少)	216	△712
未払金の増減額 (△は減少)	△514	278
その他	△42	△80
<b>小計</b>	<b>3,968</b>	<b>288</b>
利息及び配当金の受取額	116	105
利息の支払額	△313	△335
法人税等の支払額	△602	△657
その他	31	14
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,199</b>	<b>△584</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,436	△2,959
有形固定資産の売却による収入	171	182
無形固定資産の取得による支出	△75	△104
投資有価証券の取得による支出	△25	—
貸付けによる支出	△25	△30
貸付金の回収による収入	19	27
その他	64	9
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,308</b>	<b>△2,875</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	1,248	5,182
長期借入れによる収入	303	150
長期借入金の返済による支出	△2,636	△1,875
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△170	△171
非支配株主への配当金の支払額	△81	△113
その他	△214	△139
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,550</b>	<b>3,033</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	197	295
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	536	△131
現金及び現金同等物の期首残高	4,249	5,060
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	36	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	147	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,970	4,929

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社は、税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	自動車 関連品	生活機器 関連品	航空機 部品輸入 販売	芝管理機 械等販売	計				
売上高									
外部顧客への売上高	32,476	3,267	619	2,127	38,490	1,065	39,556	—	39,556
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	32,476	3,267	619	2,127	38,490	1,065	39,556	—	39,556
セグメント利益 又は損失(△)	2,068	△165	△4	7	1,906	△3	1,902	—	1,902

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、車輛用暖房機器類、福祉介護機器等の製造販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項  
該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	自動車 関連品	生活機器 関連品	航空機 部品輸入 販売	芝管理機 械等販売	計				
売上高									
外部顧客への売上高	36,897	3,138	1,258	2,339	43,633	1,177	44,810	—	44,810
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	36,897	3,138	1,258	2,339	43,633	1,177	44,810	—	44,810
セグメント利益 又は損失(△)	763	△526	419	89	745	△21	724	—	724

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、車輛用暖房機器類、福祉介護機器等の製造販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項  
該当事項はありません。